



この5年で町民生活は豊かになったのか？

村形 昌一 議員

各個人の判断で、一概には言えない

町長



みんなでもっと利用しよう！（劇団じゃがいも公演）

アベノミクスの効果

過去5年間、町民所得はどうか。町長 総所得が73億円、71億円、69億円、72億円、72億円となっており、ほぼ横ばいと判断しているが、給与所得や雇用状況は向上している。町内産業の状況をどう認識しているか。町長 雇用確保が難しく産業が伸びない面もあると感じる。

低金利政策

中小企業への貸付は。町長 町では「大石田町中小企業資金融資保証料補給規程」により資金調達の円滑化に対応している。現在87件、4億3千万円の保証債務残高があり、町は67万円を補給している。町の借金の借り換えはどうか。総務課長 借り換えられるところは、全て行っている。

虹のプラザ

利用状況はどうか。町長 多目的ホールや中会議室では、多くの方々に利用いただいた。子育て支援センターは3ヶ月で671名。昨年のぞうさんルームと並ぶほど大きく増加した。保健センターは約2千名の利用があり4講座をスタートさせた。今後、健康づくりの拠点施設として相談業務の拡充等に取組んでいく。図書館の状況はどうか。図書部長 一日平均157名が来館し、旧図書室とは比較にならない。



途中で途切れる点字ブロック(中学校前)

今後はニーズに対応したサービスの充実と学習機会の提供に努める。障がい者「優しい町へ」視覚障がい者や車イスの方が不便を感じている道路はないか。町長 整備状況は決して十分ではないと考える。点字ブロックやバリアフリー歩道の状況は。町長 中学校交差点から愛宕町方面で点字ブロックが設置されていなく、大橋までの途中で途切れている状態だ。整備を検討したい。



空き家はほっぽったままなのか

小玉 勇 議員

本年度中に審議会を開く

町長



今年の冬は大丈夫なのか・・・

危険な空き家

現在何軒あるのか。町長 ひとつ増えて4軒と考えている。何回も同じ質問をしてきたが、柳に風で聞き流しているのと同じかと思えない。町長 これまでの答弁の繰り返しでなく、今後の対応、方向性を示したい。どんなことを考えているのか。町長 条例に規定する「大石田町空き家対策審議会」の委員を委嘱し、本年度中に審議会を開催する。

審議会では何をするのか

町長 町内の空き家の実態を見てもらい「不測の事態のおそれ」の大小を客観的に判断してもらい町の取るべき措置についてや行政代執行はどうあるべきかの意見をもらい対策を進めていく。

※「空き家等の適正管理に関する条例」第14条第2項

審議会は、委員5人以内で組織し、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。(1)学識経験者(2)町民の代表者

移動販売に取りくめ

村山市大高根ではオーラダ号という販売車が買い物に不自由な人たちの助けになっている。町の対策は。町長 県内11市町で移動販売を実施しているが、主体は多様で資金もさまざまな補助を活用している。当町では190名の高齢者が一人暮らしだ。今のところ、買い物ができず困っているとの相談はない。その理由をどうとらえているか。町長 車がなくても、福祉バス・高齢者タクシー



高齢者にとっては大事な買い物(緑町地内)

での買い物や、業者の移動販売、宅配サービスを利用しているようだ。他の市町の業者が当町に大勢の顧客を持ち、活動している。町民による事業はできないか。町長 現在、県が事務局となつて地域の枠を越えた地域創生を目指した研究をしている。村山市・尾花沢市とともに高齢者の買い物支援について協議をスタートした。採算性や民間業者と競合の問題など課題はあるが、県からの補助金も期待できるので積極的に研究を進めていく。